

平成24年度 町県民税についてのお知らせ

皆さんの24年度の町県民税の税額が前年度と大きく変わります。

大きく変更となる改正点は次の2点になります。

- ① 扶養控除の見直し
- ② 同居特別障害者加算の特例の改組

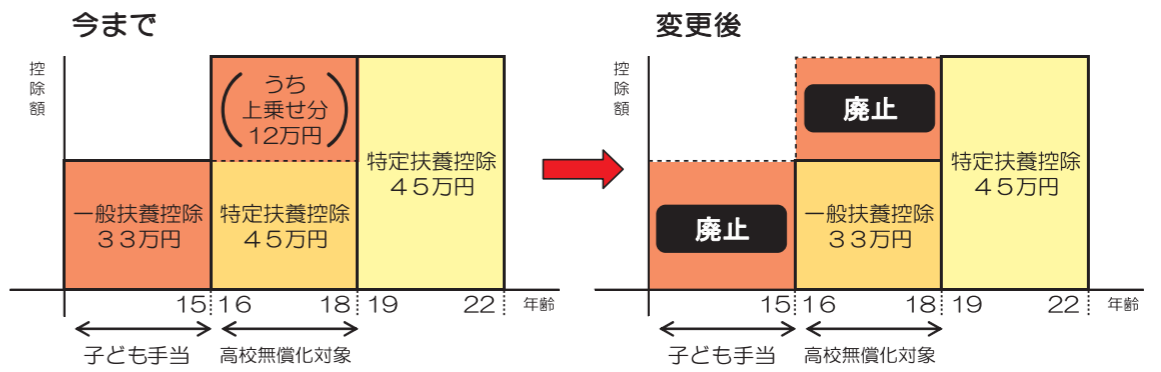
19歳未満の扶養控除をとっていたかたが対象です。

① 扶養控除の見直し

「所得控除から手当へ」などの観点から、子ども手当の創設とあいまって、年少扶養親族（扶養親族のうち、年齢16歳未満の者をいう。）に対する扶養控除が廃止されました。

- ・ 高校実質無償化に伴い、特定扶養親族（16歳以上23歳未満）のうち、年齢16歳以上19歳未満の者に対する扶養控除の上乗せ分（12万円）を廃止し、扶養控除の額が33万円とされました。

扶養控除額のイメージ図



例1 16歳未満の子供1人の場合

給与収入600万（給与所得額426万円）
 総控除額 変更前：119万円 → 変更後：86万円
 内訳：配偶者控除（33万円）・社会保険料控除（20万円）
 扶養控除（33万円・変更後：無）・基礎控除（33万円）

変更前税額	変更後税額	差額
309,500円	342,600円	33,100円増

例2 16歳以上19歳未満の子供1人の場合

給与収入600万（給与所得額426万円）
 総控除額 変更前：131万円 → 変更後：119万円
 内訳：配偶者控除（33万円）・社会保険料控除（20万円）
 特定扶養控除（45万円・変更後：扶養控除33万円）
 基礎控除33万円

変更前税額	変更後税額	差額
297,500円	309,500円	12,000円増

② 同居特別障害者加算の特例



年少扶養親族に対する扶養控除の廃止に伴い、所得割の納税義務者の控除対象配偶者及び扶養親族が同居の特別障害者である場合において、特例障害者控除に23万円を加算する措置に改められました。

平成24年度の町県民税は、前年中（平成23年中）の所得状況をもとに課税されます。上記の変更の対象となったかたは、平成23年中の収入が平成22年中と変わらなくても、控除額が減ったことで税額が変わりますので、ご注意ください。

税務窓口課 ☎84-0313

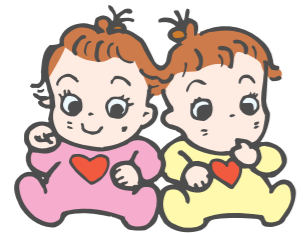
子育てワンポイント 93

Q 一歳半を過ぎたのですがまだ、卒乳ができません。

A だいたい一歳半を過ぎるくらいになると、赤ちゃんは一日三回の食事から、ほとんどの栄養を摂取できるようにになってきます。そうすると、栄養的にはミルクや母乳は必要なくなってくるのです。

一歳を過ぎるくらいの時期から、牛乳などの乳製品に切り替えて栄養を補っていく必要があります。

卒乳は、いつまでにしなければいけないという制限は、ありませんが、授乳量が減らず食事の量が少なくて体重が増えない場合や母乳に執着が強くて遊べない場合などは、子どもの様子を見ながら、昼間の授乳回数を減らして、遊びに誘い、卒乳に向けて準備をしていきます。お母さんの気



持ちも大切です。成長のタイミングをみて大らかな気持ちで進めていきましょう。

開成町子育て支援センター ☎82-1222

今 年度、文命中学校が目指す学校のキーワードは「創造と協働」です。

新 しい学校生活を、みんなで協力して創ってきたいという思いが込められています。

生 徒たちは様々な場面で活躍しています。陸上競技砲丸投げで全国大会に出場したり、読書感想文コンクールで、県教育長賞を受賞したりすることができました。

さ らにも、生徒会活動として、生徒自らの新しい試みがいっつかあります。紹介しますと、まず、「心洗組」というボランティア活動があります。生徒会本部が提唱し、ボランティアを募り、学校内外の美化作業を行っています。まさに心が洗われる活動だと思えます。ネーミングにも若者らしいセンスを感じます。これまで、

5回実施し、延べ323人が参加しました。

ま た、「意見箱」を設置し、よりよい学校生活が過ごせるよう生徒からの意見を募集しています。今回、寄せられた意見の中に、くつ下の色を白だけでなくよごれが目立たない色も認めて欲しいという要望があり、何回も話し

合い、ルールを決め、認められました。

他 にも文化祭での文命中学校のマスコットキャラクター、あいさつ標語の募集などもあります。また、東日本大震災の被災者の皆さんに向けては、大きな布にメッセージを寄せ書きして、岩手県の陸前高田市に届けました。



今 、生徒たちは、こうした活動を通して、指示されることなく、自ら考え、協力してよりよい集団生活にすることの大切さを学んでいます。

こ れからの社会は、よりよいものを創り出すクリエイティブさと、話し合いを通して協力するということがますます重要になってくると思います。

将 来、文命中学校の卒業生が、社会人として、創造性を発揮し、世界中の人々と一緒に活躍することを期待しています。

